

# 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

## 第 13 期(2024 年度)事業報告書

2024 年(令和 6 年)4 月 1 日から 2025 年(令和 7 年)3 月 31 日まで

### 目 次

|                                             |        |
|---------------------------------------------|--------|
| <b>事業の総括</b>                                | ・・・ 2  |
| <b>1. 市民活動支援</b>                            | ・・・ 4  |
| (1) ボランティア活動相談窓口での相談対応                      |        |
| (2) 「かながわ NPO 伴走応援プログラム」の実施                 |        |
| (3) 市民活動団体向けセミナーの開催(トヨタ財団国内助成 公募説明会 in 神奈川) |        |
| (4) 「NPO 法人向け勉強会」の企画運営                      |        |
| <b>2. 市民活動支援センターの連携・人材育成</b>                | ・・・ 9  |
| (1) 県内支援センター施設長会議の企画運営協力                    |        |
| (2) 県内支援センターとの連携企画(出張相談会)                   |        |
| (3) 県内支援センター職員向け研修会の開催                      |        |
| (4) 県外支援センター職員向け研修会の企画協力・講師派遣               |        |
| (5) 「NPO の事業評価」勉強会の開催                       |        |
| (6) 「かながわ NPO 伴走応援プログラム」の実施(再掲)             |        |
| <b>3. 市民参加／地域人材育成</b>                       | ・・・ 15 |
| (1) かながわコミュニティカレッジの運営                       |        |
| <b>4. 多様な主体との連携、協働推進に向けた取組み</b>             | ・・・ 21 |
| (1) 災害時に機能する被災者支援のためのネットワークづくり              |        |
| (2) かながわ人生 100 歳時代ネットワークへの参加                |        |
| (3) 企業からの寄贈品の仲介活動 (県内市民活動支援センターとの連携)        |        |
| (4) 協働・連携に関する相談対応                           |        |
| <b>5. 講師・委員等の派遣</b>                         | ・・・ 23 |
| <b>6. 総会・理事会の開催状況</b>                       | ・・・ 23 |

## 事業の総括

### 市民活動団体の支援と支援センター・中間支援組織の人材育成

2024 年(令和6年)度、かながわ県民活動サポートセンターから受託した「アドバイザー相談業務」では、個人や団体からのボランティア活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする非営利の民間の自主的な活動)に関する相談(年間 496 件)に、当法人の会員を中心とする相談員が対応しました。

相談件数は前年度と比べて横ばいですが、NPO 法人の設立や団体運営に関しての相談が多く寄せられました。これからボランティア活動を始めたい人や団体を立ち上げたい人に向けた助言や、NPO 法人の設立趣旨書や定款の確認、事業計画・予算づくりに関する助言、会計や運営事務に関する専門的な相談対応などを通じて、県内のボランティア活動の広がり、団体活動の継続に貢献しています。他方で、長く活動してきた団体の法人解散や運営体制の見直しなどの相談も多数寄せられました。

また、2024 年度は、神奈川県から「NPO の組織基盤強化のための伴走支援事業」を受託し、認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構が開発した市民組織の自己診断ツール『組織を支える 17 の視点』を活用して、県内 NPO 法人 13 団体への伴走支援プログラムを実施しました。この支援プログラムを実施するにあたって、県内の中間支援組織 11 団体、当法人の会員、士業等の専門家や NPO 活動の実践者にサポーターとしてご協力いただきました。

約 5 か月間の個別伴走期間を経て、本支援プログラムに参加した NPO 法人の方からは、組織内の制度や方針、関係者の意識に変化が生じているとの報告をいただいています。また、サポーターとして参加した多くの中間支援組織の方から、本プログラムが相談支援力の向上に役に立ったと回答いただきました。

2024 年度は、県内のボランティア活動支援施設(支援センター)の共通課題といえる人材育成にも積極的に取り組みました。前述のアドバイザー相談業務の一環として開催した、支援センターの中堅スタッフ研修では、相談対応力の向上をめざし、事例を用いたロールプレイや検討ワークなどを行いました。また、毎年好評いただいている新任スタッフ研修会を自主開催することができました。このほか、支援センターのセンター長会議の企画運営協力、県内2か所の支援センターでの出張相談会の開催、県外の NPO 支援センターの職員研修会への講師派遣も行いました。

他組織と協働・協力して様々な研修やセミナーを開催しました。神奈川県と協働で開催した NPO 法人向け勉強会は、三島理恵氏(認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事)を講師に迎え、ファンドレイジングを基礎から学ぶオンライン学習会を 2 回開催しました。トヨタ財団、日本 NPO センターと共催で、「新常态における新たな着想に基づく自治型社会の推進」をテーマにしたトヨタ財団国内助成プログラムの公募説明会を、かながわ県民センターで開催しました。かながわ生き生き市民基金、ぐらすかわさき、と連携して、地域に必要とされる「草の根の活動を支援する力」を共に高めることを目的に、NPO の事業評価について学ぶ勉強会を全 2 回で開催しました。

### 地域活動・市民活動の担い手育成

2024 年度、「かながわコミュニティカレッジ運営業務」では、「地域のつながり・支え合い」「災害救援・減災・防災」「団体運営・ICT 活用」「保健・医療・福祉」「子ども・若者」「人権」「環境」の7つの分野から、地域活動・市民活動につながる様々なテーマで年間 34 講座を開講して、延べ 1,104

人に受講いただきました。

かながわコミュニティカレッジは、県内の様々な市民活動団体・NPO が講座の企画実施を担うのが特徴です。当法人は事務局として、講座企画実施団体が提案する講座の企画調整や広報、実施運営を担い、ボランティアや NPO 等の活動を行う個人・団体の学びの場を支えました。前年度に講座を受講・修了した方々からアンケート回答と共に返送される近況報告からは、コミュニティカレッジで学んだ後、県内各地で活躍する受講生の様子がうかがえます。

### **多様な主体との連携・協働推進**

当法人、認定 NPO 法人市民セクターよこはま、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークの 3 団体が立ち上げた「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(通称:みんな)」の活動は、立ち上げから 5 年目となりました。

2024 年度は、みんなが神奈川県協働部署等と協働で実施している各種活動が、内閣府「官民連携による被災者支援体制整備」モデル事業に採択されました。「神奈川県被災者支援機関連絡会議」の隔月開催、連携訓練ワークショップ、企業・団体等における社会貢献(災害支援分野)の取組に関する調査の実施など、県・県社会福祉協議会・県共同募金会・災害時の支援団体等と共に、災害に備えて県域の情報共有・連携体制づくりを進めました。

このほか、県内支援センターと連携して企業からの寄贈品の仲介手配、行政等からの協働に関する相談に対応しました。

### **事業全体を通して**

当法人の会員・相談員が培ってきたボランティア活動相談の経験を活かして、実践的な研修の開発や、新たな伴走支援事業にチャレンジができた1年でした。また、事業活動を通して、様々な市民活動団体・支援組織との関係を深めることができました。事業や企画の数が増えるに伴い、調整事項も増えており、スケジュールや情報の共有、メンバー間のコミュニケーションがより重要となっています。一つ一つの事業や企画について、「目的・目標を確認すること」「振り返り(あるいは評価)によって成果や課題を抽出すること」「振り返りから得た気づきを活かしていくこと」を意識的に進めていきたいと思っています。

## 1. 市民活動支援

### (1) ボランティア活動相談窓口での相談対応（アドバイザー相談業務） （かながわ県民活動サポートセンター委託業務）

#### <目的・ねらい>

ボランティア活動を行う（これから行おうとする者を含む）個人や団体から寄せられる相談に、相談員が見立て、的確に対応し、課題解決に導くとともに、市区町設置のボランティア活動支援施設をはじめ関係機関との連携を強化し、もって、県内のボランティア活動の促進を図る。

#### <相談対応の実績>

- ・開設場所： かながわ県民活動サポートセンター9階「ボランティア活動相談窓口」
  - ・開設期間： 通年（2023年4月1日～2024年3月31日）
  - ・開設日程： 火曜日～土曜日の12時～16時（祝日・年末年始を除く）
  - ・開設日数： 年間251日（前年度は247日）
  - ・相談方法： 来訪、電話、メール、Zoomによるオンライン面談
  - ・対象： 市民、非営利団体（市民グループ・団体、NPO法人他）、企業、行政など
- ・相談件数： 496件（前年度は494件）

#### （内訳）相談種類

|         |      |
|---------|------|
| 総合相談    | 460件 |
| 専門相談（※） | 35件  |
| 出張相談    | 1件   |

（※）専門相談のテーマ別内訳

（法人運営16件、NPO法人会計・税務10件、資金調達7件、その他テーマ2件）

#### （内訳）相談手段

|       |      |       |
|-------|------|-------|
| 来訪    | 193件 | （39%） |
| 電話    | 231件 | （46%） |
| メール   | 55件  | （11%） |
| オンライン | 13件  | （3%）  |
| その他   | 4件   | （1%）  |

#### （内訳）相談内容（多い順）

|               |      |       |
|---------------|------|-------|
| 団体設立          | 171件 | （34%） |
| 団体の会計処理・税務    | 79件  | （16%） |
| 団体の組織運営       | 75件  | （15%） |
| その他           | 41件  | （8%）  |
| 団体の資金         | 37件  | （8%）  |
| NPO・市民活動を始めたい | 34件  | （7%）  |
| ボランティア先の紹介    | 25件  | （5%）  |
| NPO法人の解散      | 24件  | （5%）  |
| 企業・行政・他団体との連携 | 10件  | （2%）  |

### ＜実施内容・成果＞

- ・ かながわ県民活動サポートセンター「アドバイザー相談業務」を受託し、かながわ県民活動サポートセンター9階「ボランティア活動相談窓口」にて、県内のNPO法人を始めとする非営利法人、任意団体・ボランティアグループを対象に、団体運営や活動上の課題への対応に向けた助言や情報提供を行いました。また、これからボランティア活動を始めたい人や団体を立ち上げたい人に向けた助言を行いました。
- ・ 相談窓口では、さまざまな相談に初期対応する〔総合相談〕と、「法人設立・運営」「NPO法人会計・税務」「資金調達」などテーマ別の〔専門相談〕を設け、幅広い相談ニーズに対応しました。寄せられる様々な相談に、当法人の会員を中心とする相談員がシフトを組んで対応し、専門的な相談対応は外部相談員の協力も得ました。年間の相談件数は496件で、前年度と同様に開設日1日あたり概ね2件程度の相談に対応しました。オンラインの相談にも対応していますが、気軽に話ができる対面での相談が増えた傾向にあります。
- ・ 相談内容は、「法人設立」が最も多く、昨年度から引き続き「定款や事業計画書の書き方」や「団体の会計」に関する相談も増えています。異分野連携の事業計画やアイデア（例えば農産漁村の振興支援と学術・文化・芸術・スポーツ振興を組み合わせる、まちづくりと情報化社会を連携するなど）を持って相談されるケースなどもありました。また、「NPO法人を終えたい」「法人を解散するにはどうしたらよいか」「今後の活動団体の方向性を整理したい」といった、法人解散や事業継承、運営体制の見直しに関する相談も多数受けました。同一相談者が繰り返し相談に来られるケースも多かったです。コミュニティカレッジ修了者が相談窓口を活用するケースも見受けられ、地域活動・市民活動の担い手の広がりへの一助になっていると思われます。

### ＜利用者アンケート＞

- ・ 利用者アンケートを来訪相談者とオンライン相談者に実施しました（回答102件）。アンケート回答者の相談内容は、「法人の設立」に関する相談が多く、「団体事務」「団体運営」と続き、昨年度と同様「定款や事業計画書の書き方」や、団体の高齢化に伴う「解散」についての相談など専門性の高い相談内容が多くみられました。また「会計事務の手続き」「税務相談」など専門家のアドバイスが必要な相談も多数受けました。アンケートの自由記入欄には、有益なアドバイスや親切な対応に対する感謝の言葉や、当相談窓口を継続して利用したいというコメントがありました。

### ＜相談対応力の向上に向けた取組＞

- ・ 相談従事者会議（研修会含む）を年間6回、オンライン又は対面形式で開催しました。相談員間で相談事例を共有し、相談対応後の事例検討を行うことで、複雑な相談内容の知識を深め相談員の相談対応力の向上に取り組みました。相談従事者会議や研修を長年続けてきたことで、NPO法人の設立や解散に関する相談を、〔専門相談〕開設日だけではなく、〔総合相談〕において多数対応していくことができました。
- ・ 相談従事者会議のなかで個人情報保護研修を行い、相談窓口における個人情報の適切な取り扱いについて確認しました。
- ・ 県民活動サポートセンターと毎月連絡調整会議を行い、事業の実施状況や課題等について情報共有や意見交換をしました。県が所轄するNPO法人の認証事務を行っているNPO協働推進課横浜駐在所とは、相談実施体制やNPO法人からの相談状況などについて意見交換を行いました。

## (2)「かながわ NPO 伴走応援プログラム」の実施（神奈川県委託事業）

### ＜事業の目的・ねらい＞

- ① プログラムに参加する県内 NPO 法人（以下、参加団体）は、自組織の現状把握・課題の可視化を行い、自ら課題解決や組織改善に取り組むとともに、課題に応じた多様な経験・専門性を持つチームによる伴走支援を通じて、組織力の向上、資金調達の強化、事業の拡大等を図る。
- ② 県内の中間支援組織は、サポーター（以下、伴走サポーター）として参加団体の伴走支援を行うことで、中間支援組織としての相談対応力等の向上を図る。また、本プログラムを通して、県内中間支援組織のネットワークの強化を図る。

### ＜実施内容・成果＞

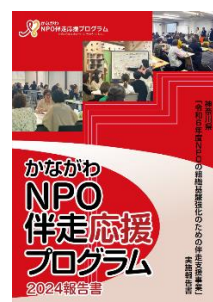
NPO が社会の問題を解決していくためには、継続的に活動するための組織力を強化が必要になります。本プログラムは、組織の継続・基盤強化に取り組む意欲のある県内 NPO 法人を対象にした伴走応援プログラムです。参加団体（NPO 法人）13 団体に対して、県内中間支援組織 12 団体（後述 2.(6)参照）が連携して個別伴走支援を実施しました。



支援対象団体は、「自己点検シート」を用いた組織の自己点検を行うことで、自団体の強みと課題をデータで確認することができ、組織基盤強化に向けた団体内関係者の合意形成や取組の方向性の検討に役立てました。また、団体の現状に合わせた柔軟な伴走支援を受け、組織内の制度や方針、関係者の意識に変化が生じています。

プログラムの全体像や個別取組の内容、終了時アンケート結果など、「かながわ NPO 伴走応援プログラム2024報告書」にまとめ、ホームページで公開しています。

<https://nsaponet-kanagawa.com/2025/04/23/report2024/>



#### 個別伴走支援の取組テーマ

| 支援対象団体名（法人格省略）        | 組織基盤強化テーマ                       |
|-----------------------|---------------------------------|
| ①サーフ 90 藤沢ライフセービングクラブ | 中長期的なファンドレイジングの視点から見た広報力と受援力の強化 |
| ②Heart & Earth        | NPO 法人としての活動の基礎固め               |
| ③事業承継と認知症を考える会        | 活動趣旨や事業内容を伝える小冊子を制作             |
| ④ライラック心の会             | 専門家とマッチングして経営改善の道筋をつける          |
| ⑤セカンドリーグ神奈川           | 理事会と事務局の連携強化に向けて布石を打つ           |
| ⑥よこはま言友会              | 安定した運営継続に向けた資金管理を提案             |
| ⑦はたらくらす               | 団体メンバーとの理念やビジョンの共有              |
| ⑧にゃぶ・猫を保護する人を増やす会     | 団体の知名度アップに向けた効果的な SNS 発信        |
| ⑨ヴォース・ニッポン            | 24 年間の事業を振り返り、成果と課題を可視化する       |
| ⑩ハクサンスポーツ少年団 FC バモス   | 法人の今後の方向性を考えるための情報を提供           |
| ⑪ZIRITSU              | ボランティアと組織の相互理解と関係性を強くする         |
| ⑫湘南ビジョン研究所            | NPO 法人としての活動の基礎固め               |
| ⑬子育てネットワークゆめ          | 新しい事業展開に向けて自分たちの未来を可視化          |

### (3) 市民活動団体向けセミナーの開催（トヨタ財団国内助成 公募説明会 in 神奈川） （協力事業）

トヨタ財団国内助成プログラム公募説明会と個別相談会の開催協力を行いました。助成テーマ「新常態における新たな着想に基づく自治型社会の推進（地域における自治を推進するための基盤づくり）」について、県内の団体に理解を深めていただく機会を作り、助成の主旨を理解して応募いただくことにつなげました。当日は2023年度助成に採択された「湘南のきさきフルーツプロジェクト」の取組報告もいただきました。公益財団法人トヨタ財団、特定非営利活動法人日本NPOセンター、当法人の共催により開催。

日時：2024年5月9日（木）16:30～17:45 説明会、17:45～18:45 個別相談  
会場：かながわ県民センター 1502 会議室  
対象：神奈川県内の公益活動団体（NPO、社団法人等）、中間支援組織等  
参加者：26名（内訳：説明会参加者17名、主催者・関係者9名）

### (4) 「NPO 法人向け勉強会」の企画運営（神奈川県委託事業）

#### ＜企画の目的・ねらい＞

県内 NPO 法人を対象に、法人の自立的かつ安定的・継続的な運営につなげるため、多様な資金獲得や団体運営、組織基盤強化等について学べる勉強会を開催する。また、資金獲得や団体運営等に関する好事例、工夫、アイデア等、参加者同士の情報交換や意見交換を併せて行う。

#### ＜実施内容＞

神奈川県内のNPO法人を対象に、資金獲得（ファンドレイジング）に必要な共感メッセージづくり、発信力強化について学ぶオンライン学習会（全2回）を県と協働で開催しました。

#### 〔令和6年度NPO向け勉強会〕

日時：第1回 2024年7月20日（火）14:00～16:00  
（申込者限定アーカイブ配信 8月5日（月）～9月5日（木））  
第2回 2024年11月6日（水）14:00～16:00  
（申込者限定アーカイブ配信 11月11日（月）～12月10日（火））  
講師：三島理恵氏（認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事、  
広報・ファンドレイジング統括責任者）（両回）  
開催方法：Zoom によるオンライン研修（終了後 1 カ月アーカイブ配信）  
対象：神奈川県内の NPO 法人  
参加者数：第1回 46 団体・48 人（アーカイブ再生回数 72 回）  
第2回 37 団体・45 人（アーカイブ再生回数 46 回）  
内容：  
・第1回「活動を支える資金調達 -実践編-」  
【講義】ファンドレイジングの基礎、共感メッセージについて、  
事例紹介（認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ等）  
【個人ワーク】「ACTION プレームワーク」の作成  
Attention（遡及するメッセージ）、Change（起こしたい変化）、  
Trust（信頼性）、Imagination（想像・ストーリー）、  
Only one（時短隊にしかない強み）、Network（つながり）  
【グループワーク】作成した「ACTION プレームワーク」のシェア

・第2回「活動を支える資金調達 -広報・情報発信力強化編-

【講義】共感メッセージについて(第1回勉強会の復習)、  
情報発信の目的、ターゲットの明確化について、  
広報ツールの棚卸し(ツールとその活用目的、発信内容、情報の受け手)  
事例紹介(認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ等)  
【グループワーク】自団体の広報ツールなどのシェア

**開催報告：NPO 法人向け勉強会**

**第1回「活動を支える資金調達 -実践編-**

「ファンドレイジングとは、共感をマネジメントすることであり、共感を軸に仲間を集め、社会課題の解決への参加を呼びかけていく方法であること」を主軸に講義が進められました。

メッセージのたな卸しや団体の強みを具体的に伝える共感メッセージを考えることの大切さなどの説明がありました。「ACTION フレームワーク」はワーク時間内で作成できなかったが後日理事会などでも活用したいという声もありました。

また、むすびえのロゴが、テレビCMや電車の車内広告でちょうど目に触れることが多かったこともあり、ロゴデザイン作成についてのエピソードが、参加者の印象に残ったようです。

**第2回「活動を支える資金調達 -広報・情報発信力強化編-**

第1回に引き続き、共感メッセージの強化が、支援者の輪の広がりや、理事・スタッフ・ボランティアの意欲向上、協賛パートナーの広がりにもつながっていく」など共感メッセージの大切さが伝えられました。

ワークでは、情報発信ツールを棚卸しし、目的やターゲットを整理するために、自団体のツールやその活用目的、発信内容、情報の受け手を一覧表に整理していく作業が実践的で参考になったようです。

また、行動に結びつく情報発信については、むすびえの実践事例を聞くことにより理解が深まりました。

## 2. 市民活動支援センターの連携・人材育成

「アドバイザー相談業務」のなかで、県内の公設ボランティア活動支援施設（以下、「支援センター」）との連携強化を目的に、センター長等を対象とした意見交換会の企画運営を担い、県内の支援センター間の相互研鑽・交流の場づくりに貢献しました。また、支援センター職員の人材育成を目的とした、「相談対応力向上研修会」を実施し、支援センターの相談対応力を高めることにも貢献しました。依頼を受けて、支援施設に対し相談員を派遣する「出張相談会」も行いました。

自主事業として、毎年好評の支援センター職員向け「新任スタッフ研修・交流会」を行いました。

### (1) 県内支援センター施設長会議の企画運営協力（アドバイザー相談業務）

#### ＜企画の目的・ねらい＞

県内ボランティア活動支援施設の課題を抽出し、その解決に向けた情報共有を行うため、施設長を対象としたミーティングを実施する。

#### ＜実施内容＞

県内支援センターの施設長等による意見交換会を県と協働で企画・開催しました。

#### 〔県内支援センター施設長会議〕

名 称：令和 6 年度ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング

日 時：令和 6 年 9 月 26 日（木）14:00～17:00

会 場：かながわ県民活動サポートセンターコミュニティカレッジ講義室 2

対 象：県内の公設ボランティア活動支援施設の施設長や当該施設の所管課長

参加者：45 名（参加者 27 名、関係者：18 名）

内 容：「ボランティア活動支援組織が提供する価値について」

～地域のボランティア活動支援施設として、その価値を高めるためには～

地域において必要とされるボランティア活動支援施設の価値と、価値向上のためのスタッフ育成に関する困りごとや課題を共有し、改善策や広域連携の可能性についてなど、意見交換や情報共有を行いました。

### (2) 県内支援センターとの連携企画（出張相談会）（アドバイザー相談業務・自主事業）

#### ＜企画の目的・ねらい＞

県内ボランティア活動支援施設と連携し、かながわ県民センター以外の会場で出張相談窓口を開設する。その際、支援施設の相談対応力の強化を図るため、連携先の支援施設スタッフの同席を促して実施する。

#### ＜実施内容＞

つるみ区民活動センター及びちがさき市民活動サポートセンターと連携して、市民活動相談会を開催しました。つるみ区民活動センターにはアドバイザー相談業務として赴き、ちがさき市民活動サポートセンターの相談会は自主事業として実施しました。

〔出張相談会〕(アドバイザー相談業務)

名 称 : NPO・ボランティア・地域活動無料相談会 in つるみ  
日 時 : 2024 年 11 月 7 日 (木) 13:30～、14:30～、15:30～ (3 部制)  
会 場 : つるみ区民活動センター (鶴見区役所 2 階)  
相談件数 : 1 件  
派遣相談者 : 手塚明美、西島朝子

〔出張相談会〕(自主事業)

名 称 : あなたのまちで相談会 in ちがさき  
日 時 : 2024 年 12 月 4 日 (水) 13:30～、14:30～、15:30～ (3 部制)  
会 場 : ちがさき市民活動サポートセンター  
相談件数 : 6 件  
派遣相談者 : 手塚明美、西島朝子

**(3) 県内支援センター職員向け研修会の開催** (アドバイザー相談業務・自主事業)

＜企画の目的・ねらい＞

県内ボランティア活動支援施設の課題を抽出し、その解決に向けた情報共有を行うため、スタッフ等を対象としたミーティングを実施する(スタッフレベルによる課題解決のための意見交換を行う)。

＜実施内容＞

神奈川県内の支援センター(神奈川県資料で 2024 年 6 月現在 48 か所)は、設置する自治体によってその機能や役割が一樣ではないですが、支援センターで働く職員・スタッフの育成は共通課題と言えます。

そこで、当法人では、支援センターに勤務する初任者(概ね 3 年以内の方)を対象とした研修・交流会を自主事業として開催しました。市民公益活動の特性、非営利活動団体(NPO)の組織・運営について基礎的な知識を深め、市民や地域の活動を支える支援センター職員としての心構えや役割について共に考えました。

また、アドバイザー相談業務の一環として、中堅職員(概ね 2 年以上の方)を対象に、相談対応力の向上のための実践的な研修を行いました。どちらの研修も、参加者の気づきや学びにつながり、支援センター職員同士の交流の機会にもなりました。

① ボランティア活動支援施設 新任スタッフ研修・交流会(自主開催)

日 時 : 2024 年 10 月 30 日 (水) 13:30～16:00  
会 場 : かながわ県民センター711 会議室  
参加者 : 支援施設職員で概ね従事 3 年以内の方 11 名  
参加費 : 2,000 円(1 名あたり)  
プログラム

- ・「知っておきたい NPO の基礎知識／NPO 支援センタースタッフのお仕事」  
(講師 手塚明美/(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事)
- ・「先輩から新任スタッフへの応援メッセージ」  
(ゲストスピーカー 関野豪星/藤沢市市民活動推進センター センター長)

- ・グループ討議・発表と交流会
- ・グループごとに感想共有・各グループから講師に質問
- ・全体共有で今日の気づきと「明日から何をしますか？」を参加者全員が発表

【研修参加者の発表内容「明日から何をしますか？」】(順不同・一部抜粋)

- ・得意分野をみつける・地域のこともっと知る・地域の情報を集める
- ・団体への興味を持つ・理解することから始める・認知度を上げる
- ・地域の方と話をしたい・ありたい姿を考える・市民活動をもっと知る

②相談対応力向上研修(事例を用いた相互学習会)(アドバイザー相談業務)

日 時:2025 年 1 月 8 日(水)13:30～16:30

会 場:かながわ県民センターコミュニティカレッジ講義室 2

参加者:支援施設職員で概ね従事 2 年以上の方 17 名

プログラム

- ・相談対応についてのレクチャー  
(講師 藤井京子/(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 理事)
- ・事例を用いたロールプレイ  
(ボランティア相談窓口の事例を活用した相談対応体験)
- ・事例検討ワーク(個人ワーク及びグループワークを 2 事例)
- ・相談業務に関する意見交換

【研修参加者の感想】(順不同・一部抜粋)

- ・一人では思いつかないこともあり、グループで取り組むことはとても大事だと思いました。ロールプレイでは、自分の良かったところを相手の方から伝えていただき、その部分も学びになりました。
- ・相談対応には正解はありませんが、傾聴のスキルが重要であり、「こうしましょう」「～すべきです」ではなく、相談者の視野を広げたり自身が気付いたりすることをサポートすることが役割であるということが理解できました。



#### (4) 県外支援センター職員向け研修会の企画協力・講師派遣 (自主事業)

県外の支援センターから依頼を受け、NPOの組織診断ツールの紹介や伴走支援の実践報告など、当法人の持つ経験を生かした研修を提案し、講師派遣を行いました。

令和6年度みやぎNPOプラザNPO支援センター研修

「NPO支援施設における伴走支援のあり方を考える」

日時: 2024年12月5日(木) 13:30～16:00

会場: Zoomによるオンライン研修

参加者: 宮城県内のNPO・市民活動支援施設、NPO支援組織、市町村等のNPO担当部署で、相談業務や伴走支援に携わっている、またはこれから携わる予定の職員 15名

主催: 宮城県

企画: みやぎNPOプラザ(特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

内容:

- ・レクチャー「NPO支援施設における伴走支援のあり方を考える  
～基盤強化に向けた自己診断ツールの活用」  
(講師 手塚明美 (一社)ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事)
- ・伴走支援の事例「よこはま夢ファンド」「かながわNPO伴走応援プログラム」
- ・フリーディスカッション

研修従事者: 手塚、西島、藤枝、葉石、平野

【参加者の感想: 今回学んだことを今後のNPO支援に活かせそうですか?】(順不同・一部抜粋)

- ・伴走支援プログラムとしてではなく、日々の事業のファシリテーションや会話の中でも伴走視点で情報を拾えることが分かった。
- ・今後のNPOとの連携等に役立つと考えました
- ・課題や団体の強み弱みを可視化するために、団体内だけでなくボランティアや受益者などが同じシートに回答することで、関係者の気持ちの理解にもつながる。

#### (5) 「NPOの事業評価」勉強会の開催 (自主事業)

##### ＜企画の目的・ねらい＞

下記2つの目的をもって、当法人、公益財団法人かながわ生き生き市民基金、NPO法人ぐらすかわさきの3者が「(仮称)かながわNPOパワーアップラボ」活動を立ち上げました。

- ・地域の市民活動支援センターや市民ファンド等にかかわる中間支援組織がゆるやかに連携して共に学び、支援力を向上させ、市民社会づくりの担い手となっていくこと。
- ・社会の変化を市民自身で研究し、草の根活動を支える人材やネットワークを育てていく仕組みとなること。

##### ＜実施内容＞

「かながわNPOパワーアップラボ」活動の一步として、草の根の活動団体が活用できる事業評価の手法を学ぶため、中間支援組織の役職員を対象とした勉強会を3者で協力して開催しました。

名称: NPOの事業評価勉強会～NPOの活動を豊かにするための事業評価とは

日時: 第1回 2024年7月10日(水)・第2回 7月29日(月) 両日 13:30～17:30

会 場：かながわ県民センター304 会議室・1501 会議室

参加者：28 名

参加費：10,000 円（ワークブック代を含む）

講 師：NECO ゼミ（NPO 事業評価コーディネーター友の会）

石本貴之氏、松村幸裕子氏、岩崎大樹氏、高橋義博氏

第 1 回 講 義「評価ってなんだろう～事業評価の 5 つのステップ」  
ワーク「ロジックモデルづくり」

第 2 回 ワーク「指標づくり/評価計画づくり」

講 義「データ収集・分析、評価結果を活用しよう」



## (6)「かながわ NPO 伴走応援プログラム」の実施（神奈川県委託事業） ※再掲

### ＜事業の目的・ねらい＞

- ① プログラムに参加する県内 NPO 法人（以下、参加団体）は、自組織の現状把握・課題の可視化を行い、自ら課題解決や組織改善に取り組むとともに、課題に応じた多様な経験・専門性を持つチームによる伴走支援を通じて、組織力の向上、資金調達の強化、事業の拡大等を図る。
- ② 県内の中間支援組織は、サポーター（以下、伴走サポーター）として参加団体の伴走支援を行うことで、中間支援組織としての相談対応力等の向上を図る。また、本プログラムを通して、県内中間支援組織のネットワークの強化を図る。

### ＜実施内容＞

本プログラムでは、神奈川県内の 12 の中間支援組織（当法人を含む）が、伴走サポーターとして参加団体に伴走して、共に団体の組織課題に向き合いました。伴走サポーターは、8 月のキックオフ会合で担当団体と顔合わせをして、以降は個別に団体との打合せ・やり取りを進め、組織基盤強化につながる支援の方向性を検討しました。また、必要に応じて専門家等（NPO 運営の実践者や士業等の専門家）にも応援を依頼し、それぞれの団体の課題に沿ったサポートを提供しました。

さらに、伴走サポーターは月 1 回サポーター会議に参加し、他の伴走サポーターと支援状況などの情報共有を行い、様々な支援取組から学びを得る機会を持ちました。

### 【2024 年度プログラムに参加いただいた中間支援組織】（当法人を含む）

※組織名（N＝NPO 法人）に続けて記載されているのは運営施設名

公益財団法人かわさき市民活動センター（かわさき市民活動センター）

（N）くみんネットワークとつか（とつか区民活動センター）

（N）YMCA コミュニティサポート（横須賀市立市民活動サポートセンター）

（N）YMCA コミュニティサポート（三浦市民交流センターニナイテ）

（N）鎌倉市市民活動センター運営会議（鎌倉市市民活動センター）

（N）藤沢市民活動推進機構（藤沢市市民活動推進センター）

（N）湘南 NPO サポートセンター（ひらつか市民活動センター）

ざま市民活動応援広場（座間市民活動サポートセンター）

（N）アクションポート横浜

（N）ぐらすかわさき

（N）まちらボ

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

### ＜事業目的②の成果と課題＞

本プログラムに参加して伴走サポートに携わっていただいた中間支援組織の役職員の方々に、終了時アンケートを行ったところ、回答者の 92%が「本プログラムは相談支援力の向上に役に立った」と回答されました。「団体の活動応援に必要なプロセスを再認識することができた。」「団体と数カ月間にわたって、共に課題に向き合い、共に解決への糸口を探ることは、大変得難い経験だった。」「スタッフ間で深く支援内容について検討する時間を持てたことで、チームで支援内容をブラッシュアップすることができた」等のコメントが寄せられました。

一定期間、団体と共に課題に向き合いながら寄り添って進んでいく伴走という支援スタイルや、チームを組んでサポートする本プログラムは、県内の中間支援組織の人材育成やボランティア団体を支える力の向上にも寄与していると考えています。

他方、中間支援組織間のネットワークづくりに関しては、他の中間支援組織とのつながりが「深まった/やや深まった」と回答されたのは半数弱の 48%でした。オンラインによる定期的なサポーター会議で情報共有・交流を行ってきましたが、会議の持ち方など、さらに工夫が必要と思われます。

### 3. 市民参加・地域人材育成

#### (1) かながわコミュニティカレッジの運営（かながわ県民活動サポートセンター委託事業）

##### <事業の目的・ねらい>

かながわコミュニティカレッジは、地域・社会の課題解決や地域の活性化に取り組む人材を掘り起こし、育成することを目的とする。講座開催を通じて、これから活動したい受講生には活動に結びつけるための支援を、また、既に活動中の受講生には、活動の発展や多様な主体との協働に向けたコーディネート等ができるよう支援を行う。

##### <2024 年度の事業実績>

当法人は「令和6年度かながわコミュニティカレッジ運営業務」をかながわ県民活動サポートセンターより受託し、コミュニティカレッジの運営を担いました。コミュニティカレッジの運営は2015年度より毎年委託を受け、10年目となります。

かながわコミュニティカレッジは、県内の様々な市民活動団体・NPOが講座の企画実施を担うのが特徴です。2024年度は「地域のつながり・支え合い」「災害救援・減災・防災」「団体運営・ICT活用」「保健・医療・福祉」「子ども・若者」「人権」「環境」の分野から多様なテーマで年間計34講座を開講しました（開講講座の一覧は後述）。

当法人は事務局として、講座企画実施団体が提案する講座の企画調整や広報・実施運営を担い、ボランティアやNPO等の活動を行う個人・団体の学びの場を支えました。また、講義室での対面講座及びオンライン講座も開催しました。オンライン講座については講義を録音録画して後日受講生に配信するサービスも行いました。

開講講座数： 34 講座  
総受講者数： 1,104 人（延べ）

##### <トピックス>

2024年度開講講座のうち、当法人が主催となって企画運営した講座、当法人の会員が講師として関わった講座、受講生交サロンの実施状況を詳述します。

#### 1. 特別講座「人生を豊かに過ごすための地域での支え合い・助け合い」

これまでボランティア活動の経験がない方が参加しやすい講座として、無料のオンラインセミナーを開催しました。前年度の受講生2名にも登壇いただき、受講動機や講座の様子、その後の活動などを話していただきました。また、令和6年度開催講座の紹介も行いました。本セミナー参加者がコミュニティカレッジ講座に申し込まれ、次のステップにつながるきっかけも提供できました。

#### 2. NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座

NPOに関する基礎知識、団体運営の実務について学びたい方を対象とした講座を全4回オンラインで開催しました。54名の方に受講いただき、仲間集め、資金集め、広報、協働をテーマに学びを深めました。

#### 3. 受講生交流サロン

受講生が互いの近況や活動状況を情報交換し交流することで、活動の活性化や今後の活動に向けたモチベーションの継続につなげることをめざし、令和6年度の主催講座受講生を対象とした受講生交流サロンを2025年3月に開催しました。

ボランティア活動未経験者層の参加促進講座(特別講座)  
かながわコミュニティカレッジ オンラインセミナー  
「人生を豊かに過ごすための地域での支え合い・助け合い」

日 程: 2024 年6月 15 日(土) 13:30～15:15

参加者: 53 名(申込み 60 名)

内 容:

第1部 特別講演『見つけてみませんか? 知り合い以上、  
友人未満の「ゆるやか」な人間関係のうまれ  
る場 ～今からできるあなたの「種まき」』

講師 澤岡詩野(さわおか し)氏

東海大学健康学部健康マネジメント学科 特任准教授

公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団客員研究員

コミカレ講座体験談 2名(令和5年度講座受講生)

第2部 令和6年度かながわコミュニティカレッジ講座の紹介



【参加者の感想(アンケート回答より一部抜粋)】

- ・全般的に学べる講座が多くあることを再認識させていただきました。
- ・澤岡先生のお話で、活動メンバーの増やし方のヒントをいただきました。昨年参加のお2人には、具体的な内容をお聞きできて大変参考になりました。受講に興味を持ちました。
- ・人生100年時代と言われる中、子育ても落ち着きこれから地域に貢献して新たな生きがいを探したいと思い受講しました。ボランティアに参加したいのだけれどどこから始めれば良いかわからなかったのが、良いきっかけになったと思います。
- ・「今とは違うボランティア活動がしたい、でも…」と迷いを抱えしり込みをしている自分の背中をそっと押してくれるような、素敵な講座でした。受講できて本当に良かったです。
- ・今自分が置かれている場所で日常的に出会う人だけではなく、様々なバックグラウンドを持つ方達と出会い、色々な考え方や課題を聞く機会を求めて、何かの講座を受講してみたいと思いました。
- ・高齢になり年を重ねるごとに仕事や家族とのかかわりが薄れ、気が付いた時には家に引きこもり、外とのつながりがなくなっているようなそんな10年後、20年後を描いていましたが、澤岡先生に講演を聴き、日常生活での楽しみとは、共感するとは、居心地がいいとは、など、自身に問いかけるきっかけを教えてくださいました。

## NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座

日 程: 2025 年1月 29 日(水)、2 月 5 日(水)、19 日(水)、26 日(水) 全4回

19:00～20:30

受講者: 54 名

受講料: 3,600 円

内 容: 第1回 新たな仲間を集め、巻き込む

NPO法人CRファクトリー

コミュニティマネジメント認定インストラクター

豊平さとみ氏

第2回 活動に必要なお金を集める

(一社)ソーシャルコーディネートかながわ理事

藤井京子氏

第3回 活動の魅力を伝える・広める

映像作家、カメラマン、逗子文化プラザ市民交流センター広報

本藤太郎氏

第4回 協働する力をつける

(一社)ソーシャルコーディネートかながわ理事長 手塚明美氏

### 【受講生の感想 (アンケート回答より一部抜粋)】

- ・「観客」を増やすという考え方、活動の魅力を人々に伝え知ってもらうことが第一歩だということがよくわかった。SNS は若い人の意見も聞いて取り入れていきたいと思った。
- ・漠然と助成金活用を検討していましたが、助成金は不安定なので管理費等にあてるのはよくないなど、目からうろこでした。
- ・共感してもらうにはストーリーを語る。背伸びをせず自分の言葉で語ること、発信し続けることが大事、それが共感・信頼につながる。
- ・「協働」について改めて考える機会ができてよかった。何気なく使っているような気がします。学び直す必要がありそうです。
- ・ZOOM でのセミナーは初めての参加だったが、とても参加しやすくて良かった。19 時から 20 時半という時間帯も絶妙で、現役世代も参加しやすいのではないかと思います。アーカイブで見直しができるのも良かった。



## 令和6年度受講生交流サロン

日 時: 2025 年3月 15 日(土) 13 時 30 分～15 時 30 分

会 場: かながわコミュニティカレッジ講義室

参 加 者: 31 名

参 加 費: 無料

受講対象: 令和6年度主講座受講生 643 名(延べ 797 名)にチラシを郵送または配布等で案内

内 容: アイスブレイク(回想法を活用して)

ファシリテーター 回想法プランニングスタッフ

地域活動事例の紹介

NPO法人宮ノマエストロ代表理事 高橋裕子氏(平成27年度コミカレ受講生)  
グループトーク、交流

### 【参加者の感想(アンケート回答より一部抜粋)】

Q 講座を受講され、何かご自身に変化はありましたか？

- ・地域の人と人々との交流。
- ・NPO 立ち上げたいと思っているのでその基本枠がスタートできたと思っています。
- ・「仲間作り」の場として、他にはない素晴らしい場所と思います。
- ・違った背景を持つ方々に出会えたこと。知識が増えた。
- ・もっと学習したくなった。
- ・知らなかったことがたくさんあり、全てが学びになりました。
- ・つながり、絆を求めて活動したい人は、予想以上に多かったこと。変化、コミュニケーション基本意識・復習として啓発された。

Q 受講生交流サロンに参加しての感想等

- ・目的に対し、それを実現させるために NPO を立ち上げ、きめ細かい支援を行いたいとする人達が少なからずいらっしゃることを心強く思っています。
- ・上手に進行役の方が進めて下さり、お一人おひとりの学んだことから、色々活動なさっている様子を聞いて、参考になりました。
- ・紹介事例がとても素晴らしく、多くの方々の協力で地域での大きな出会いの場、活動の場となっていることに感銘を受けた。参加できてとても良かった。回想法も、とてもヒントになりました。
- ・令和6年度、1年間お世話になりました。今年度出会った仲間と持続可能な活動をしていきたいと思います。



## 受講生交流サロン

2025年3月15日(土)13:30～15:30

## 2024 年度かながわコミュニティカレッジで開講した講座の一覧

(神奈川県主催講座) ★印はオンライン開催

| 講座名                                       | 講座企画実施団体名                                           | 開催日         |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------|
| 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(基礎編)               | NPO 法人びな・パートナーシップ・ひろば                               | 7/5～7/25    |
| 犯罪被害者支援ボランティア養成講座(初中級)                    | 公益社団法人神奈川被害者支援センター                                  | 7/5～9/20    |
| 防災教育ファシリテーター養成講座(初級編)<br>横浜会場             | 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク                            | 7/6～7/27    |
| 傾聴講座(入門編)①                                | NPO 法人シニアライフセラピー研究所                                 | 7/9～7/30    |
| 災害ボランティア入門講座 ★                            | (一社)ソーシャルコーディネートかながわ                                | 7/18、7/25   |
| 防災教育ファシリテーター養成講座(初級編)<br>平塚会場             | 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク                            | 8/3～9/14    |
| 災害ボランティアコーディネーター基礎講座                      | NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク<br>(一社)ソーシャルコーディネートかながわ     | 8/3～8/24    |
| NPO 会計講座 ★                                | (一社)ソーシャルコーディネートかながわ／協力:<br>NPO法人税理士による公益活動サポートセンター | 8/22～9/12   |
| 傾聴講座(入門編)②                                | NPO 法人シニアライフセラピー研究所                                 | 9/3～10/15   |
| 子育て期の相談 リスナルケアラー養成講座(入門編)                 | NPO 法人ひだまりの森                                        | 9/6～9/27    |
| 市民団体スキルアップ講座 ～会議のコツ、ジェンダー表現入門、人が集まるチラシ作り～ | NPO 法人ジェンダー平等 Labota                                | 9/7～10/5    |
| 子どもがいる家庭への訪問支援講座おうちサポーター入門編               | 認定NPO法人びーのびーの                                       | 9/17～10/29  |
| 新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座～人に伝わる文章を書く技術を学ぶ～ ★    | (一社)ソーシャルコーディネートかながわ                                | 9/18～10/2   |
| 聞き書きボランティア養成講座                            | 聞き書きの樹                                              | 10/3～10/24  |
| 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(実践編)               | NPO 法人びな・パートナーシップ・ひろば                               | 10/3～11/21  |
| 共助の地域づくりを推進する講座                           | これからの福祉を考える会・横浜<br>(一社)ソーシャルコーディネートかながわ             | 10/9～11/27  |
| 新聞記者に学ぶ文章・写真・編集パワーアップ講座 ★                 | (一社)ソーシャルコーディネートかながわ                                | 10/17～11/21 |
| 大人のひきこもりと発達障がいを考える講座                      | ふわふわの会<br>(一社)ソーシャルコーディネートかながわ                      | 10/19～12/14 |
| シニアライフアドバイザー養成講座                          | 一般社団法人神奈川健康生きがいづくりアドバイザー協議会                         | 10/26～12/7  |
| 子育て期の相談 リスナルケアラー養成講座(実践基礎編)               | NPO 法人ひだまりの森                                        | 11/1～11/22  |
| 傾聴講座(実践編)                                 | NPO 法人シニアライフセラピー研究所                                 | 11/5～12/17  |
| 園芸療法ボランティア入門講座                            | NPO 法人日本園芸療法研修会                                     | 1/9～3/6     |
| 地域活動リーダー養成講座                              | 輝楽庵                                                 | 1/18～2/8    |
| NPO・ボランティア団体の活動と運営実務講座★                   | (一社)ソーシャルコーディネートかながわ                                | 1/29～2/26   |

(連携講座)★印はオンライン開催

| 講座名                        | 講座企画実施団体名                | 開催日         |
|----------------------------|--------------------------|-------------|
| 外国につながる子どもの学習ボランティア入門講座    | NPO 法人日本語・教科学習支援ネット      | 7/7～8/17    |
| 外国につながる子どもの学習支援者ブラッシュアップ講座 | NPO 法人日本語・教科学習支援ネット      | 7/7～9/8     |
| 子どもシェルターのボランティア養成講座        | 認定 NPO 法人子どもセンターてんぼ      | 9/7～10/5    |
| 理科推進スタッフ体験講座               | 認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房    | 10/15～2/5   |
| 犯罪被害者支援ボランティア養成講座(上級)      | 公益社団法人神奈川被害者支援センター       | 10/25～12/27 |
| 防災教育ファシリテーター養成(上級編)        | 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク | 10/26～12/7  |
| 「歌うチャームング体操」リーダー養成講座       | NPO 法人チャームングライフサポート協会    | 11/6～12/11  |
| 野生動物リハビリテーター養成講座(講義編)      | NPO 法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部   | 12/1, 12/8  |
| 回想法リーダー養成講座                | 回想法プランニング                | 1/17～2/28   |
| 回想法リーダー養成講座 オンライン ★        |                          | 1/17～3/7    |

(特別講座)★オンライン開催

| 講座名                                                    | 講座企画実施団体             | 開催日  |
|--------------------------------------------------------|----------------------|------|
| かながわコミュニティカレッジオンラインセミナー<br>人生を豊かに過ごすための地域での支え合い・助け合い ★ | (一社)ソーシャルコーディネートかながわ | 6/15 |

## 4. 多様な主体との連携、協働推進に向けた取組み

### (1) 災害時に機能する被災者支援のためのネットワークづくり (災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわの活動)

#### <活動の目的・ねらい>

神奈川県内で大規模災害が起きたときに備え、多様な専門性やネットワークをもつ NPO・ボランティア団体、職能団体、企業等の民間団体が、行政、社会福祉協議会と連携して被災者・被災地域の支援活動を進めるための環境整備を進める。

#### <みんなの発足・活動の経緯>

「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(以下、みんな)」は、2020 年 4 月に当法人、認定 NPO 法人市民セクターよこはま、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークの 3 団体で立ち上げた団体です。

2021 年度から 3 年間、広域大規模災害に備えた平常時からの行政、社協、NPO 等の連携体制構築のためのプロジェクトが、かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業に採択され、県内外の様々な支援団体との顔の見える関係づくり、県内での災害時情報共有会議の枠組みづくりに向けて、会議、研修・訓練、フォーラム、調査など様々な活動を行いました。

これら活動の結果、2024 年 2 月に「神奈川県被災者支援機関連絡会議」が正式に発足しました。みんなは、連絡会議の構成員・事務局として、災害に備えて県内外の多様な支援団体とのネットワークの強化、コーディネーションの仕組みづくりを引き続き進めています。

#### 「神奈川県被災者支援機関連絡会議」構成員

- ・神奈川県 くらし安全防災局防災部 危機管理防災課
- ・神奈川県 福祉子どもみらい局福祉部 地域福祉課
- ・神奈川県 政策局政策部 NPO協働推進課
- ・神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター
- ・社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
- ・社会福祉法人 神奈川県共同募金会
- ・特定非営利活動法人 神奈川災害ボランティアネットワーク
- ・災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ

#### <2024 年度みんなの活動>

2024 年度は、上記「神奈川県被災者支援機関連絡会議」で実施している各種活動が、内閣府「官民連携による被災者支援体制整備」モデル事業に採択されました。みんなは、かながわ県民活動サポートセンター等と協力して連絡会議を定例で開催するとともに、行政、社協、NPO 等が互いの災害時の活動について理解を深めることを目的に、連携訓練ワークショップを企画・運営しました。また、企業や団体等の依頼に応じて研修の企画や運営協力、講師派遣など行いました。「令和 6 年能登半島地震」の被災地支援活動を行う全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)の活動を応援するため、みんなメンバーが石川県に出張しました。

#### (以下、2024 年度みんなの主な活動実績)

- ・毎月第 2 水曜午前 みんな運営委員会(オンライン)
- ・隔月で「神奈川県被災者支援機関連絡会議」を開催
- ・7 月 5 日「能登半島地震の支援と私たちの災害対策」緊急報告会(後援)
- ・令和 6 年能登半島地震支援活動 JVOAD にスタッフ派遣(2 月、5 月 計 2 名)

- ・企業・団体等における社会貢献(災害支援分野)の取組に関する調査の実施(9月～11月)、調査結果報告書の公開 <https://minkana.net/news/survey2024/>
- ・ぼうさいこくたい in くまもと への参加(10月19日・20日)
- ・損保ジャパン 越境学習 産官学連携の人材育成プログラム(10月、11月)に協力
- ・男女共同参画センター横浜「男女共同参画の視点を取り入れた防災研修」(10月～1月)に協力
- ・10月31日 県内自治体(災害ボランティア関連部署)の会議に参加
- ・11月1日 横浜イノベーションダイアログにテーマ提供団体として参加
- ・12月19日 「行政・社協・NPO など多様な主体による被災者支援のための連携訓練ワークショップ」開催

## (2) かながわ人生 100 歳時代ネットワークへの参加

神奈川県では「かながわ人生 100 歳時代ネットワーク」という行政、大学、企業、NPO 等が連携・協働するためのプラットフォームをつくり、県民一人ひとりが生涯にわたり生き生きと充実した生活を送ることができる社会を実現するため、「学びの場」から「活動できる場」へと繋ぐ仕組みの創出を目指しています。当法人は、非営利組織(NPO)として、また中間支援団体としての立場で、創設時よりネットワークに参加しています。今年度も、かながわコミュニティカレッジ事務局が定例意見交換会に参加し、ネットワーク参加企業・団体と交流・情報交換を行いました。

## (3) 企業からの寄贈品の仲介活動（県内市民活動支援センターとの連携）

認定 NPO 法人日本 NPO センターの依頼を受け、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先を推薦しました。「障がいのある子どもを対象とした活動を行っている団体」や「自然災害の被災者支援、広域避難者支援を行っている団体」にお菓子が届くよう、広域避難者支援活動団体や県内の市民活動支援センター7か所を通じて計 13 団体に仲介手配しました。

【寄贈先団体・施設】※(N) = NPO 法人、カッコ内は仲介支援施設名

(N)発達サポートネット パオバブの樹／湘南しゅわ市場（ちがさき市民活動サポートセンター）

(N)サポートハウス ワン・ピース（大和市民活動センター）

(N)ワーカーズコープ座間地域福祉事業所放課後等デイサービス オリーブ／ゆいま～る（座間市民活動サポートセンター）

(N)Music of Mind／藤沢地域福祉事業放課後等デイサービスおひさま（藤沢市市民活動推進センター）  
市民活動 Kids Fine（さがみはら市民活動サポートセンター）

(N)きしゃポップ／平塚市手をつなぐ育成会（ひらつか市民活動センター）

モモの会／(N)FunPlace39（横須賀市立市民活動サポートセンター）

(N)かながわ避難者と共に歩む会

## (4) 協働・連携に関する相談対応

NPO や企業、行政等からの協働や連携に関する相談に対応しました。

### ①協働・連携に関する相談会（年 4 回）

日時：5 月 23 日、8 月 22 日、12 月 26 日、1 月 23 日

会場：かながわ県民活動サポートセンター

### ②個別相談対応

神奈川県など行政職員からの相談に対応しました。

## 5. 講師・委員等の派遣

自治体や各地の支援組織、市民団体などの依頼に応じて、セミナーや学習会の講師、会議等の委員やアドバイザーを務めました。

### 講師・アドバイザー・ファシリテーターなど派遣実績(2024 年度)

| 講座等名称(主催者、開催日)                                                                                                  | 担当 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| かながわ民際協力基金 申請応援プログラム・連続講座(オンライン)<br>(公益財団法人かながわ国際交流財団、2024 年 4 月 13 日・17 日・20 日 24 日)                           | 藤枝 |
| 小田原市市民活動・協働応援制度補助金募集説明会内講座「活動のためのマナーはどうしますか」<br>(おだわら市民交流センターUMECO、2024 年 10 月 14 日・21 日)                       | 手塚 |
| 非営利団体サポート学習会「非営利団体のマネジメント～NPO・市民活動団体の組織を整える～」(オンライン)<br>(公益財団法人かながわ生き生き市民基金、2024 年 11 月 5 日)                    | 藤枝 |
| 環境学習リーダー養成講座「市民活動について」(オンライン)<br>(神奈川県環境科学センター、2024 年 11 月 9 日)                                                 | 手塚 |
| NPO 法人パノラマ管理職セッション ファシリテーター (2025 年 2 月 5 日)                                                                    | 藤枝 |
| 「多文化共生フォーラム 2024 多文化共生の活動の輪を広げよう～活動する人・応援する人の想いをつなぐダイアログ2～」(オンライン) モデレーター<br>(公益財団法人かながわ国際交流財団、2025 年 2 月 15 日) | 藤枝 |

### 委員会等への参画(2024 年度)

| 会議・委員会等名称                                               | 担当 |
|---------------------------------------------------------|----|
| NPO 支援かまくらファンド審査委員                                      | 手塚 |
| 中央ろうきん助成制度“カナエルチカラ”2024 選考委員長                           | 手塚 |
| かながわ生き生き市民基金選考委員長                                       | 手塚 |
| 水源環境保全・再生かながわ県民会議 市民事業専門委員会                             | 藤井 |
| 平塚市市民活動推進補助金審査会委員                                       | 藤井 |
| 川崎市指定 NPO 法人審査会委員                                       | 西島 |
| ほどがや市民活動センターアワーズ 評議会委員                                  | 藤枝 |
| かながわ子ども未来ファンド助成選考委員                                     | 藤枝 |
| NPO 法人全員参加による地域未来創造機構「アソシエーション活動実態調査 2024 実行委員会」オブサース参加 | 藤枝 |
| NPO 法人森ノオト「パブリック・リレーションズ・サポートプログラム」アドバイザー               | 藤枝 |
| NPO 法人日本 NPO センター「マネジメントサポート BOOK(仮称)」編集委員              | 藤枝 |

## 6. 総会・理事会の開催状況

2024 年 5 月 21 日(火) 第 1 回理事会  
 2024 年 6 月 20 日(木) 年次社員総会、第 2 回理事会  
 2024 年 10 月 29 日(火) 第 3 回理事会  
 2025 年 2 月 25 日(火) 第 4 回理事会

以上